

平成25年度
愛知県臨床検査精度管理調査報告会

一般検査部門
精度管理調査報告

江南厚生病院 臨床検査技術科

伊藤 康生

試料内容およびサーベイ項目

- ★ 尿定性検査
サーベイ用に調整された2種類（試41、試料42）の凍結乾燥試料を使用した。
- ★ 便潜血検査（免疫学的便ヘモグロビン検査）
サーベイ用に調整された2種類（試料43、試料44）の擬似便を使用した。
- ★ フォトサーベイ
尿沈渣、髄液、虫卵（10題、写真11枚）



目標値

★ 尿定性検査

	試料41	試料42
蛋白	(1+)	(-)
糖	(-)	(1+)
潜血	(1+)	(-)

★ 便潜血検査（免疫学的便ヘモグロビン検査）

試料43	試料44
(+)	(+)



評価方法

★ 尿定性検査

目標値をA評価、目標値から上下1段階までをB評価（正解）、2段階以上外れたものをD評価（不正解）とした。半定量値は、今後サーベイを実施する際の参考調査とした。

★ 便潜血検査（免疫学的便ヘモグロビン検査）

定性値は、目標値をA評価（正解）、目標値から外れたものをD評価（不正解）とした。定量値は、今後サーベイを実施する際の参考調査とした。

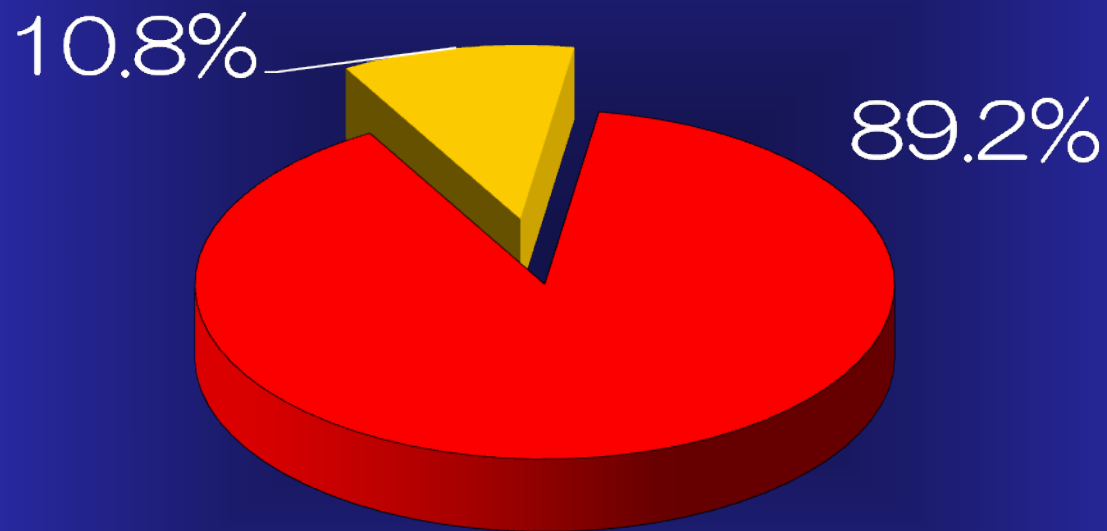
★ フォトサーベイ

正解をA評価、不正解をC評価とした。



尿定性検査

尿定性検査判定方法 (n=111)

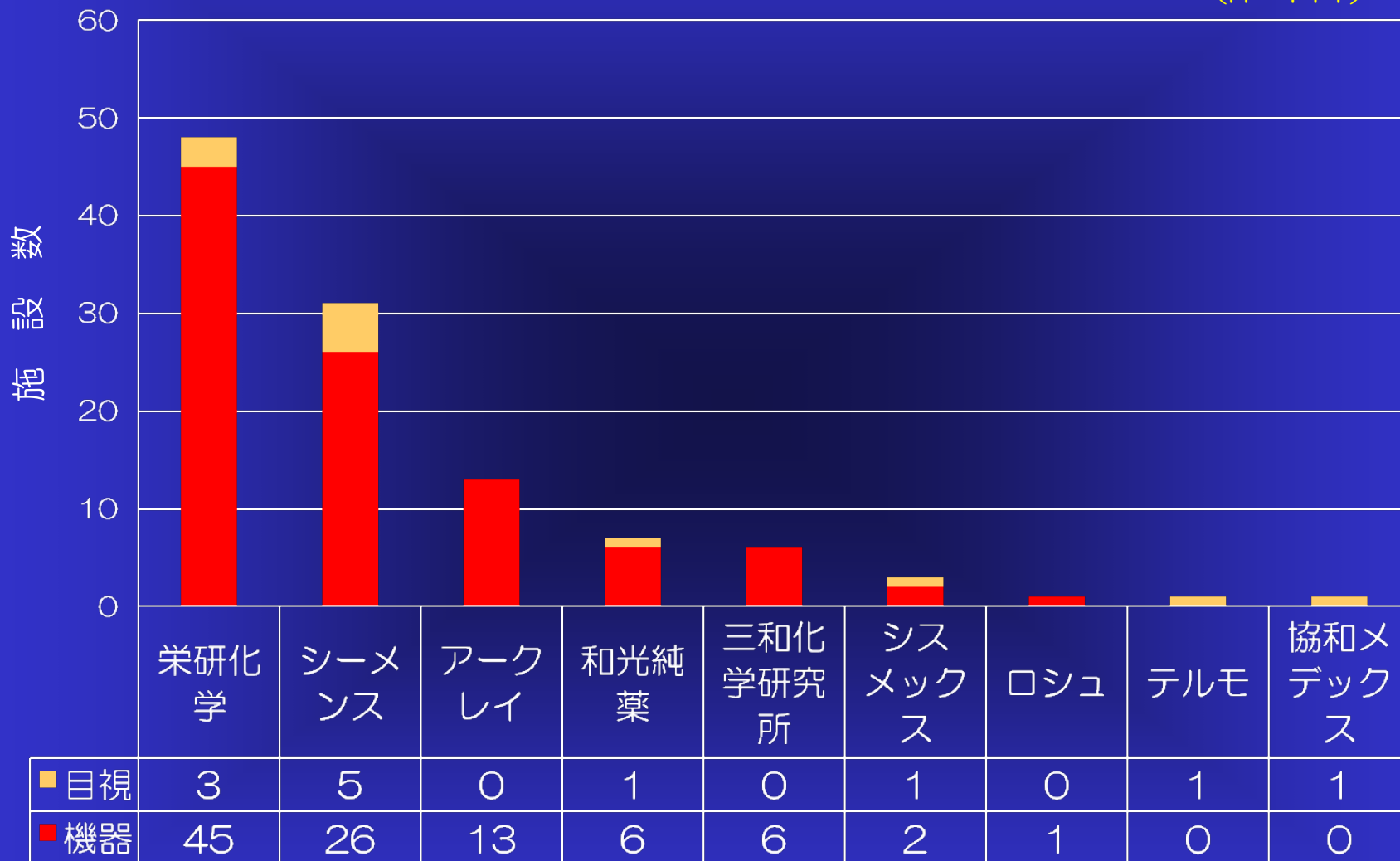


■ 目視判定 (12) ■ 機器判定 (99) ()内は施設数



尿定性検査メーカー別施設数と判定方法

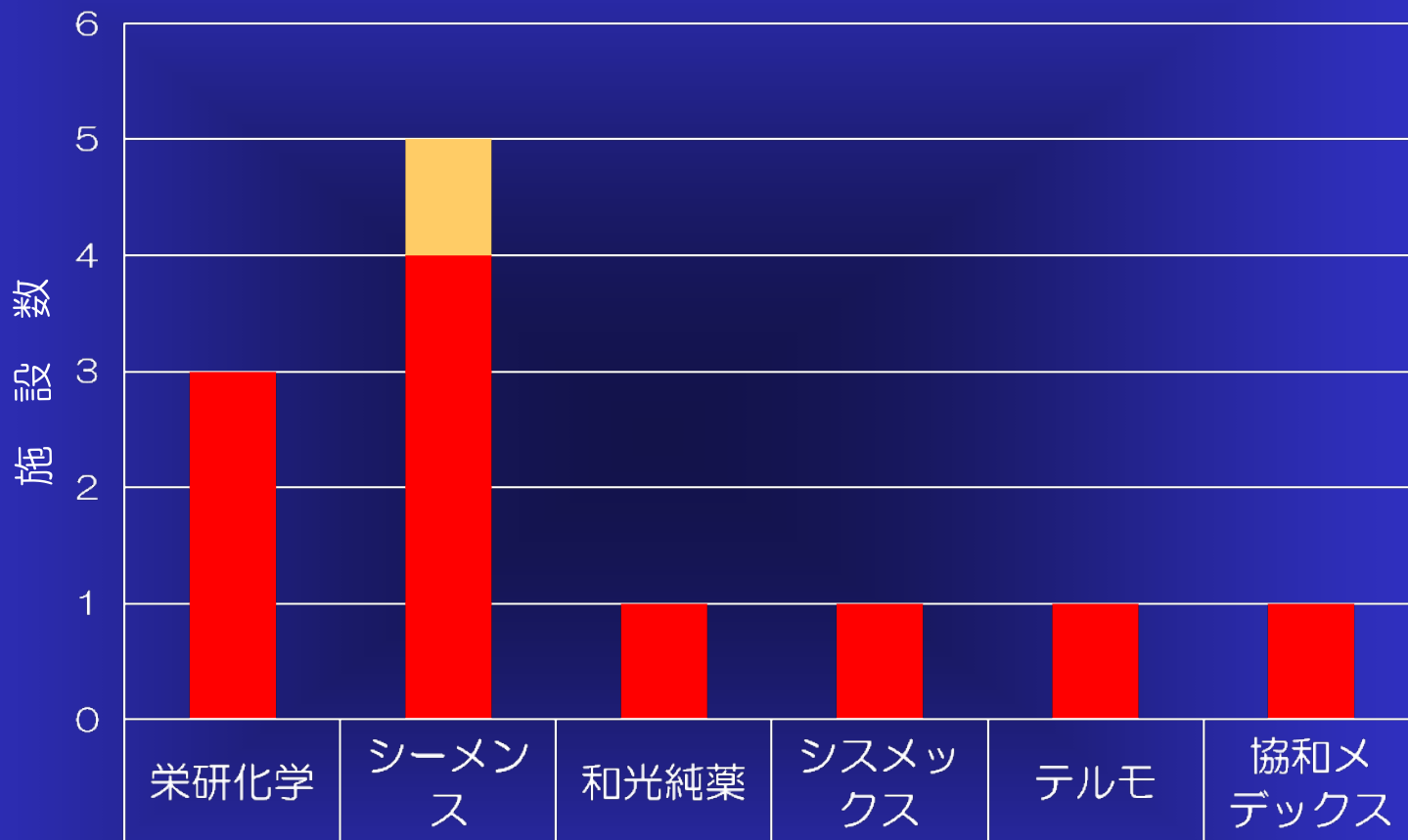
(n=111)



43.2% 27.9% 11.1%



目視法の詳細 (n=12)



■ 切り捨て法
■ 近似選択法

栄研化学

シーメンス

和光純薬

シスメックス

テルモ

協和メデックス



尿定性検査（蛋白）

定性	試料41			定性	試料42		
蛋白	施設数	回答率 (%)	評価	蛋白	施設数	回答率 (%)	評価
-	0	0.0		-	111	100.0	A
±	1	0.9	B	±	0	0.0	
1+	109	98.2	A	1+	0	0.0	
2+	1	0.9	B	2+	0	0.0	
3+	0	0.0		3+	0	0.0	
4+	0	0.0		4+	0	0.0	

正解率 100.0%

100.0%



尿定性検査（糖）

定性	試料41			定性	試料42		
糖	施設数	回答率 (%)	評価	糖	施設数	回答率 (%)	評価
-	111	100.0	A	-	0	0.0	
±	0	0.0		±	4	3.6	B
1+	0	0.0		1+	103	97.8	A
2+	0	0.0		2+	4	3.6	B
3+	0	0.0		3+	0	0.0	
4+	0	0.0		4+	0	0.0	

正解率 100.0%

100.0%



尿定性検査（潜血）

定性	試料41			定性	試料42		
潜血	施設数	回答率 (%)	評価	潜血	施設数	回答率 (%)	評価
-	0	0.0		-	110	100.0	A
±	1	0.9	B	±	0	0.0	
1+	77	70.0	A	1+	0	0.0	
2+	32	29.1	B	2+	0	0.0	
3+	0	0.0		3+	0	0.0	
4+	0	0.0		4+	0	0.0	

正解率 100.0%

100.0%



尿定性検査まとめ

★ 試料41

目標値は蛋白30mg/dL (1+)、糖0mg/dL (-)、潜血0.06mg/dL (1+)とした。A評価とB評価を含む正解率は蛋白100%、糖100%、潜血100%であった。そのうち、A評価(目標値)は蛋白98.2%、糖100%、潜血70.0%であり、概ね良好な結果が得られた。

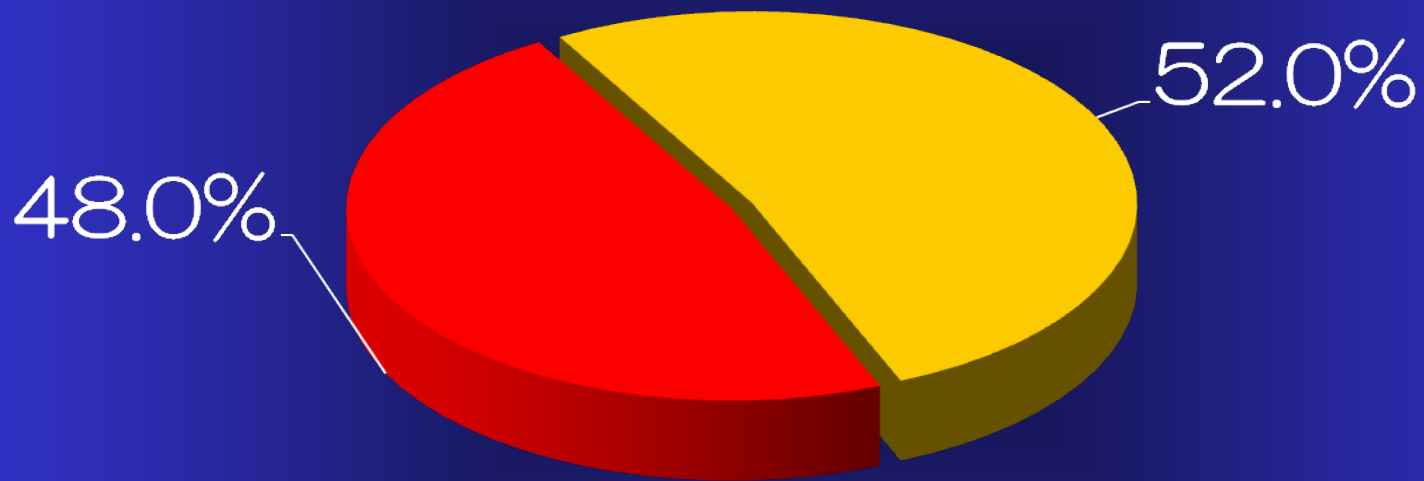
★ 試料42

目標値は、蛋白0mg/dL (-)、糖100mg/dL (1+)、潜血0.00mg/dL (-)とした。A評価とB評価を含む正解率は蛋白100%、糖100%、潜血100%であった。そのうちA評価(目標値)は蛋白100%、糖97.8%、潜血100%であり、良好な結果が得られた。



便潜血検査

便潜血検査判定方法 (n=98)

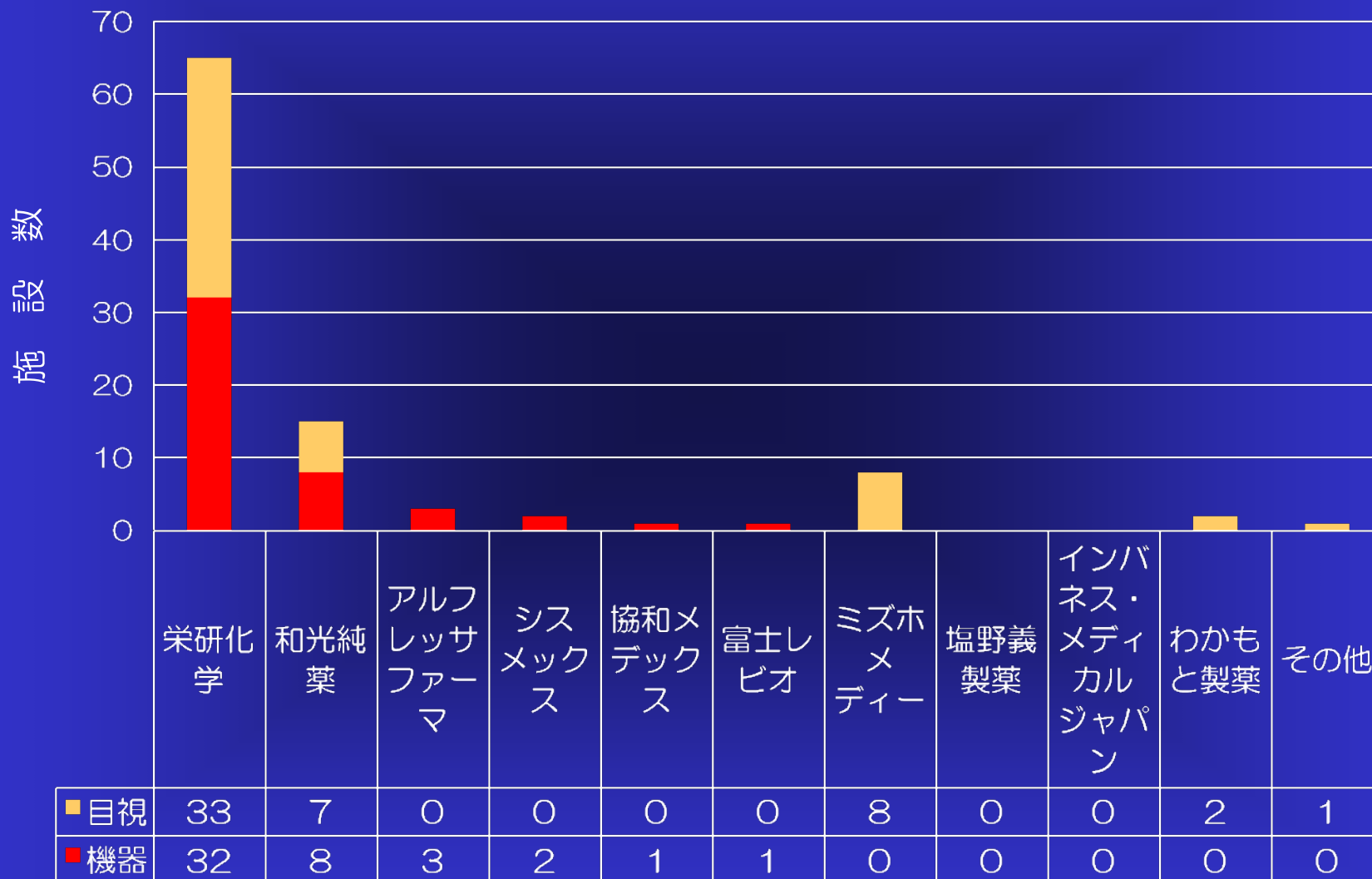


■ 目視判定 (51) ■ 機器判定 (47) ()内は施設数



便潜血検査メーカー別施設数と判定方法

(n=98)



66.3% 15.3%



便潜血検査

定性結果	試料43		試料44	
	件数	割合 (%)	件数	割合 (%)
(-)	1	1.0	0	0.0
(+)	98	99.0	98	100.0
合計	98	100.0	98	100.0



便潜血検査まとめ

- ★ 概ね良好な結果が得られたが、試料43において機器判定の施設で1施設が不正解となった。誤判定の要因として、検体採取量の多少や、試薬の劣化、検量線の状態、メンテナンスの状況などが考えられる。



フォトサーバイ

フォトサーベイ

		回答	件数	割合 (%)	評価
設問1	1	A：非系球体型赤血球 B：非系球体型赤血球	2	1.9	C
	2	A：非系球体型赤血球 B：系球体型赤血球	103	96.2	A
	4	A：系球体型赤血球 B：系球体型赤血球	2	1.9	C
設問2	1	扁平上皮細胞	107	100	A
設問3	1	硝子円柱	2	1.9	C
	4	脂肪円柱	1	0.9	C
	5	ろう様円柱	104	97.2	A
設問4	3	上皮円柱	107	100	A
設問5	3	リン酸カルシウム結晶	1	0.9	C
	4	コレステロール結晶	106	99.1	A
設問6	2	尿酸塩	1	0.9	C
	3	2,8ジヒドロキシ アデニン結晶	106	99.1	A
設問7	1	扁平上皮細胞	1	0.9	C
	2	尿路上皮細胞	4	3.7	C
	4	尿細管上皮細胞	102	95.4	A
設問8	5	異型細胞 (尿路上皮癌細胞疑い)	107	100	A
設問9	4	単核球：多核球=3：2	103	100	A
設問10	3	鞭虫卵	106	100	A

正解率の平均は98.7%



一般検査部門精度管理調査まとめ

- ★ 今年度の精度管理調査参加施設は、尿定性検査111施設、便潜血検査98施設、フォトサーベイ107施設であった。昨年度と比べ尿定性検査とフォトサーベイの参加施設数が増加した。
- ★ 尿定性検査は、昨年度に続きサーベイ用に調整されたメーカー製のコントロール尿を使用した。結果は、JCCLS尿検査標準化委員会の指針にほとんどの施設が準拠しており、概ね良好な結果が得られた。
- ★ 便潜血検査の定性結果は良好であった。今後も正確な判定結果を得るため、採取する検体量・攪拌・機器メンテナンスなどに注意し業務にあたっていただきたい。
- ★ フォトサーベイについては、全体の正解率が98.7%と非常に良好な結果であった。来年度も「尿沈渣検査法2010」の分類基準に従い回答していただく予定である。

